

に鉄鋼標準試料が必須である。その意味でも基準的な定量方法で求められた硫黄含有率表示値を持つ再現性のよい標準試料が要求され、JSS 硫黄定量専用鋼の6品種はその要求にマッチした標準試料といえることができる。

文 献

1) 針間矢宣一ほか：日本鉄鋼標準試料の歩み

(1977), p. 64 [日本鉄鋼協会]

2) 大槻 孝：鉄と鋼, 67 (1981) 7, p. 867

3) 日本鉄鋼協会共同研究会鉄鋼分析部会編：日本鉄鋼業における分析技術(1982), p. 212 [日本鉄鋼協会]

4) H. F. PRONK: MG/D/Conf. Proc./518/71

新刊紹介

ISO 6303 に準拠したクリープ破断データ 外挿法の手引 (第1版)

日本鉄鋼協会・高温強度研究委員会

クリープ強度外挿法分科会・ワーキンググループ編

クリープ強度外挿法分科会においては、昭和56年度より約2年間にわたり、クリープ破断データの外挿法を中心とする内外の進歩につき調査・研究を進めてまいりました。近年、コンピュータを用いて高温強度データが統計的に取扱うことが一般的になりつつありますが、クリープ破断データの外挿法についてはいまだにマニュアル(目視)によるデータプロットに基づいた外挿が多いようです。本書はISOにおいて標準的に推奨しているクリープ破断データ整理法を基礎とし、わが国におけるクリープ破断データの外挿法の現状を加味し、いくつかの実例と共に解説したものであります。特に計算機を使用するためのプログラミングについては元のTTP(時間・温度パラメータ)法モデル式からの具体的な回帰分析手順の流れ図と共に掲載しております。また、原始データと主破断曲線の式(最適化パラメータ定数、回帰係数)も表示してありますので、計算プログラムのチェックも容易です。

以上のように、今般6月に出版のはこびとなりました本書はコンピュータによるクリープ破断データ解析法の手引として高温強度評価に興味をお持ちの各位にとり非常に有用かと存じます。是非ご購入の上座右の一冊として活用下さるようご案内申し上げます。なお、在庫が僅少ですからお申込お早めをお願いします。

記

1. 内容 1. はじめに 2. 適用上の注意 3. 解析手順 (3.1, クリープ破断原始データ 3.2, 等温クリープ破断曲線と予備解析 3.3, SEEとRMS 3.4, TTPと簡易TTP法 3.5, 最適化TTP法 3.6 報告書), 4. 解析例 (4.1, 炭素鋼 4.2, 2¼ Cr-1Mo鋼 4.3, 304Hステンレス鋼) 5. 特に留意すべき事項 (5.1, 外挿法の限界 5.2, マルチヒートデータの取扱), 6 あとがき, 参考文献: 付録 ISO 6303 付録クリープ破断データの解析に用いられる外挿法
2. 価 格 会費 2,000円 非会員 3,000円 (送料別)
3. 申込方法 書名, 部数, 送付先を明記のうえ現金書留にてお申し込み下さい。
4. 申 込 先 〒100 千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会 庶務課 [電話 (03) 279-6021]